



夏期開園は2020年11月3日(火・祝)まで。開園時間は午前9:30～午後5:15(入園は午後4:00まで)。
10月16日(金)からは午前9:30～午後4:30(入園は午後4:00まで)。11月4日(水)～10(火)は休園。
体調が悪い方、発熱がある方は入園をご遠慮ください。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館

☎0166-36-1104

華やかなのは、繁殖期だけ。 彼らの羽は、今、とても地味です。

9月上旬、「クジャク舎」の前で「クジャク、地味だね」「羽、ひろげないね」という声を多く聞きました。クジャク(オス)と言えば、目玉模様の派手な羽をひろげメスにその美しさをアピールする姿を思い浮かべますが、メスに美しさをアピールするのは、春～夏の繁殖期の行動なので、今、クジャクのオスは地味な時期なのです。派手で長くて重たい飾り羽は必要なくなり、抜けているだけなのです。

「とりの村」にいるマガモのオス、「北海道産動物舎」の「北海道の野鳥コーナー」で飼育しているオシドリ、オスのオスも、春～夏の繁殖期に美しい生殖羽(繁殖羽)をもちます。繁殖期の終わりから、メスにアピールするための羽からメスのように地味で目立たない羽に換わります。

地味になったクジャクやマガモ、オシドリのオスの羽は、再びやってくる春の繁殖期には華やかな羽になりますよ。



マガモ オス/9月



マガモ オス/5月

頭から首にかけてはえている光沢のある緑色の羽は、光の加減により紫色にも見えます。繁殖期が終わると、その美しい羽はメスのように地味で目立たない羽に換わります。



オシドリ オス/9月



オシドリ オス/6月

今は地味でも、
春には美しい羽が
はえそろういます！

インドクジャク
オス/9月インドクジャク
オス/6月

目玉模様の長い飾り羽は、繁殖期が終わる8月下旬から抜けはじめ、すべて抜けてなくなります。12月頃からまたはえてきます。

同じ個体とは思えない変貌ぶりのオシドリ。あか、こ、い、ろ、の茶色の「銀杏羽」や緑や赤、紫色の羽も繁殖期が終わるとすべて地味で目立たない羽に換わります。

旭山動物園公式SNSを使って、自宅でも旭山動物園を楽しむことができます！

旭山動物園では、これまで、春の休園中からInstagramを使った「日々の動物動画」を配信し、Instagramライブ配信、夜の動物園期間中には「裏側探検」のYouTubeライブを行いました。またFacebookやTwitterでもいろんな情報を発信しています。

8月からは、6月の開園から行えなかった、飼育展示スタッフが担当動物についての話を「ワンポイントガイド」をYouTube生配信を始めました。リアルタイムで見た方は毎週日曜と祝祭日の13:30から配信がスタートしますので、ぜひご覧ください。右に各SNSの二次元バーコードを用意しましたので、登録、よろしくお願いいたします。

公式YouTube
チャンネル公式Facebook
ページ公式Twitter
アカウント公式Instagram
アカウント

長い飾り羽は1mにもなります

これからのイベント

※情報は9/25現在のものです

「もぐもぐタイム」「なるほどガイド」は
新型コロナウイルス感染症対策のため、平日のみの実施となっております。
来園者同士距離を保ちながらガイドを楽しんでください。

●11/1(日)～12/12(土) 正門そばの「いこいの広場」休憩所にて第52回
旭川市旭山動物園児童動物園コンクールの受賞作品掲示

「ワンポイントガイド」は、
毎週日曜と祝祭日の13:30から公式YouTubeチャンネルで生配信しております。

ススキの穂も開き
冬への準備がはじまります
トナカイのデナリ(オス)のツノは立派に完成し、エゾシカのオスのツノも完成し始め、繁殖期をむかえています。冬には真っ白な毛に覆われるエゾユキウサギの体の毛の色は現在茶色ですが脚の毛が白くなり始めました。少しずつ冬への準備が始まっています。園内の木々は色付き始めていますし、ハマナスは赤い実をつけ、ゆつくりロードのススキの穂も開きました。昨年より少し遅い気がしますが、北海道の短い秋がスタート。動物たちも人間も冬に向けて準備・対策が始まります。